

『Re』 の仕事



OTANIマン



OTANIエンジェル

Otani Seiun CSR レポート 2018

あなたの環境をECOに繋げるお手伝い
大谷清運株式会社
フリーコール 0120-965-554



〒125-0032 東京都葛飾区水元1-3-13 TEL.03-3600-5561 FAX.03-3600-5563
E-mail/info@otaniseiun.com <http://www.otaniseiun.com>



8 働きがいも
経済成長も



RECYCLE PLANT
RE-BORN

11 住み続けられる
まちづくりを



4 質の高い教育を
みんなに

RECYCLE PLANT
RE-BORN
2010



OTANIエンジェル

クリエイション Re-Creation



OTANIマン

私たちは“Re の為の提案”
(Reduce、Reuse、Recycle、「Re・Slim」、「RE-BORN」など)を通して、
当社に関わる全ての 人々に安心と幸福、
そして利益をもたらす「真心込めて 愛ある丁寧な仕事」を提供します。

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



天然資源を有効に利用するため、再利用や再生をして
環境負荷を減らす仕組みを構築し、限りある地球の資源を有効に
繰り返し使う循環型社会を目指しています。
世界的な問題となっている廃プラスチック処理にも積極的に携わっています。
いまの社会をより良くするために、
私たちに何ができるかを常に考え、実践していきます。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

『Re』に対する思い。 それはモノを、一人を大切に作る心。



生活をデザインし直す、「Re・Slim」の考え。
それが「Re」の起点。

大量生産、大量消費、大量廃棄の時代に育ち、
ホテルニューオータニで販売促進の業務に10年勤務。
そして父が創業した会社、大谷清運(株)に入る際、考えた。
モノを大切にしてきた日本人の生活ライフスタイルをもう一度見直してみたい。
「生活を今一度、スリムにする」との思いを込めて企画事業部「Re・Slim」の設置を提案。
ごみは元々ごみとして存在していたわけではない。大切な資源。
捨てることは最終手段。資源にできるモノをもっと増やしていきたい。
ウチに来たものは、できる限り「よみがえらせる <Reborn>」
その考えのもと、工場名も「RE-BORN(2000年)」「RE-BORN2010(2010年)」と
命名しました。

働きたい人が働ける場を提供したい。

働きがいのある人間らしい仕事(ディーセントワーク)。
誰も置き去りにない社会を実現させるために、個人の差異を受け入れる。
女性が活躍できる職場、働く機会が少ない障がいを持った方達、意欲はあっても
仕事に限られる高齢者、日本社会に壁を感じてしまう海外の人、
仲間や家族のような温かい職場で誰もが働ける会社でありたい。

女性の活躍？ピンとこない。

男社会の業界。経営層が女性であるから、女性の働きやすさも特別ではなく「当たり前」。
世間が言うほど、女性の労働に対して神経を使うこともないし、意識もしない。
男性も女性もそれぞれの環境で、まずはできることを理解し合って
一人ひとりが最善を尽くす!! そして一人ひとりが成長することが大事、
それが会社の成長だと思う。

代表取締役社長 二木 玲子

RECYCLE の仕事



今後手がけていきたい 『Re』の仕事とは



ペットボトルや食品トレイなど、プラスチック製品は今の生活に欠かせない。ごみにすれば環境汚染につながる廃プラスチック。大切な資源を再生させ、再利用へつなげ、一部を新たな製品として生まれ変わらせています。今後はそれをさらに推し進め、資源を創り出していきます。

運輸課 次長 小川 大介

2017年、中国がプラスチックごみの輸入を禁止しました。行き場のなくなったプラスチックごみは、現在、バングラデシュなどの東南アジアに流れています。その量の多さに現地の対応が追いついていません。山で燃やしてしまったり、海に捨てたりするケースがニュースとなり、環境・海洋汚染が世界的な問題となっています。

欧州連合(EU)はプラスチックストローを全面禁止とする方向性を打ち出し、日本でもスーパーのレジ袋は有料になりました。プラスチックごみは、今や世界のやっかい者です。でも、プラスチックごみは、きちんと処理すれば資源として再生できるんです。資源にするための処理を行っているのが、私どもの工場、RE-BORNです。

運輸課が、行政やお客様から資源を収集してきます。回収したものをRE-BORNで資源物と廃棄物に選別します。ペットボトルはキャップを取り、ラベルをはがし、ベール(圧縮梱包)に仕上げます。それを再生化する工場へ運びます。ペットボトルの中間処理施設がRE-BORNです。

RE-BORN2010というもう一つの工場では、中間処理のほか、廃プラスチック・紙くず・木くずを原料に、固形燃料のRPFを製造しています。ここはごみ

が製品になる、再資源化設備も備えています。

資源を運ぶ、処理する。どちらも大谷清運の支柱ですが、どちらか片方が多くなってもうまくいきません。運搬に力を入れると工場がパンクするので、そこはバランスを見ながら日々調整しています。

社長が、落ちているペットボトルを拾って「これも再生できるでしょ」と、キャップを外し、大切にしようと言った精神が、この会社のスタッフ全員に根付いています。ごみは再び蘇らせることができます。ペットボトル1本1本を大切にリサイクルしていく。資源を再生する仕事は、地味で手間がかかりますが、お客様から、「やっぱり大谷さんだね」と言われる仕事をしていきたいと思っています。

私のスタートはペットボトルのリサイクルからでした。15年経ったいま、それをさらに進化させたい。使い終わった1つのキャップを、もう一度人の手に渡し、役に立つものにしていきたい。再生への夢です。再資源化を一步進めて、物を再生させる、何かを作り出すことに今後チャレンジしていきたいと思っています。

自分たちが道を作って、子供たちの世代に繋げていくこと。未来へ続く資源化の流れを作る。それが私がこの仕事を通じてやり続けたい社会貢献です。



RE-BORN 副所長 霜鳥 裕一

自分はきっちりした性格なので、ストックヤードに物がたまっている状態でその日を終わらせたくないんです。常にきれいな状態で、分別もきっちりして次の工場へ渡す。うちに任せてもらったものは再資源化100%を目指しています。

RE-BORN

省資源から創資源へ

限りある資源を再利用し、再び生まれ変わらせ、有効利用できる資源へ環境に負担をかけない資源循環型社会の実現へ向けて、RE-BORN、RE-BORN2010 2つのプラントがそのお手伝いをしています。

RE-BORN 2010



RE-BORN2010 所長 田島 智子

現代は物が溢れていて、何でも使い捨て。これを見直すのは難しいことですが、この工場では、再生の最終工程の固形燃料まで作れます。周囲の美化にも気を配りながら、1つでも多くの物が再利用できるよう、みんなで丁寧な選別をしています。



まず、自分たちの職場から 働きやすくする『Re』

本社では月に1回第二土曜日を仕事の終了後、皆で職場を清掃する活動を実施。そのリーダーたちを「環境整備隊」と命名し、取り組んでいます。環境整備隊の活動は職場の改善活動であり、個々人の「気づく力」を高めることを目的としています。



環境整備デーは清掃を通して社内コミュニケーションの向上にもつながっています。きれいな職場は気持ちが良いし、会社の周辺の清掃も行っていただきますので近所からも喜んでいただけます。喜んでいただくと嬉しいし、やりがいも感じられます。真心こめて愛ある丁寧な仕事に清掃については、自分がよいと思っても相手はどう思うか。自分よがりではなく、してほしいことに気づいて誠意を尽くして行うこと考え、行動しています。



経営管理部 係長
岡本 智恵



運輸課 リーダー
千本木 泰貴

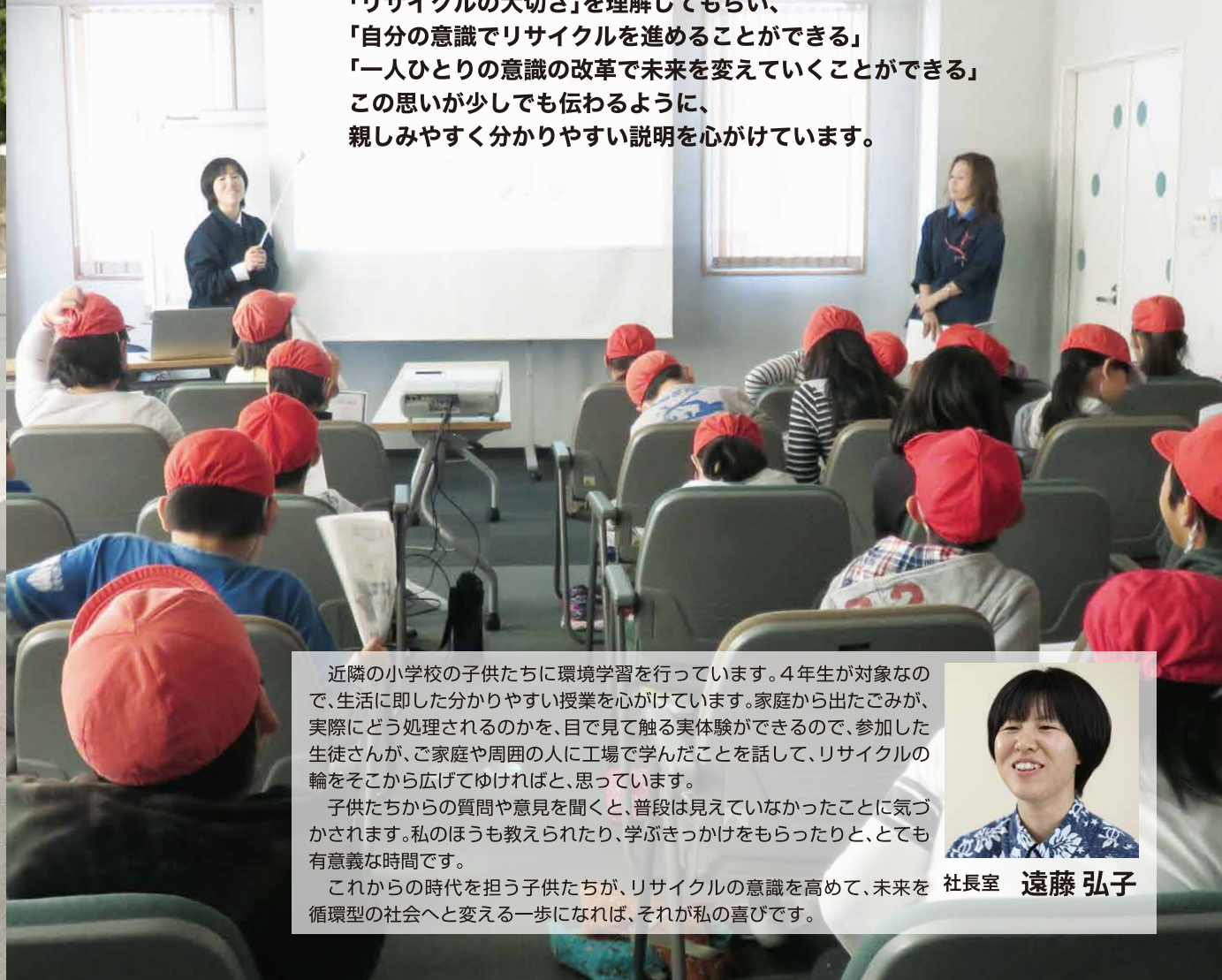
環境整備隊として、汚れている場所、車等をチェックし、きれいにしてもらうよう働きかけています。また、月に一度、ミーティングを実施し、前回の反省や次にどのようなイベントを行えばさらに皆が意識をもって取り組んでくれるかを検討しています。お客様に迷惑を掛けずに物事をスムーズに終わらせる。お客様以上に理解力を高めることが、真心こめて愛ある丁寧な仕事ととらえています。



未来を支える子供達に 『Re』の精神を伝える



小学生を対象に、環境学習を実施しています。「リサイクルの大切さ」を理解してもらい、「自分の意識でリサイクルを進めることができる」「一人ひとりの意識の改革で未来を変えていくことができる」この思いが少しでも伝わるように、親しみやすく分かりやすい説明を心がけています。



近隣の小学校の子供たちに環境学習を行っています。4年生が対象なので、生活に即した分かりやすい授業を心がけています。家庭から出たごみが、実際にどう処理されるのかを、目で見て触る実体験ができるので、参加した生徒さんが、ご家庭や周囲の人に工場で学んだことを話して、リサイクルの輪をそこから広げてゆければと、思っています。

子供たちからの質問や意見を聞くと、普段は見えていなかったことに気づかされます。私のほうも教えられたり、学びきっかけをもらったりと、とても有意義な時間です。

これからの時代を担う子供たちが、リサイクルの意識を高めて、未来を循環型の社会へと変える一歩になれば、それが私の喜びです。



社長室 遠藤 弘子

2018年度
CO₂
排出量



世界
33,684.94百万t

日本 大谷清運
1,150百万t

本 社	22t
RE-BONE	208t
RE-BONE2010	63t
合 計	293t

資料：GLOBAL NOTE
出典：BP (世界、日本 CO₂ 量)

2018年度
CO₂
削減



廃棄物
1291t

サーマル
施設

発電電力量
888,619kwh

スラグ生成量
94t

RE-BORN2010では工場内で処理できなかった廃棄物をサーマルリサイクル(熱回収)し、発電、スラグ生成でさらに再生化しています。

出典：J&T環境株式会社データのデータシート(2018年度分)より

大谷清運2018CSRレポート作成プロジェクトに参加して

実践女子大学 生活科学部 現代生活学科 環境・エネルギーゼミ3年生



藤田 華帆
今回CSRレポートの制作に携わらせていただき、企業の方々と関わらせていただけてとても勉強になり、良い経験となりました。また、この経験を通して、より多くの方に大谷清運さんについて知ってもらいたいと思いました。



大場 愛海
今回プロジェクトに携わり、大谷清運のCSRレポートを作成することで工場見学、社長インタビューなどを通して、持続可能な開発目標に向けて様々なことに取り組んでいることを知ることができました。また、その過程を通してSDG'sの理解を深め、自分もSDG'sを掲げている会社に就きたいと思いました。

斎藤 三和
今回環境のことを配慮しながら誇りを持ってリサイクルという循環作業を行っており、どの社員さんもそして社長さんとも熱心に取り組んでいることを知ることができ、このような仕事をもっと多くの人たちに知っていただきたいと感じ、有意義な時間を過ごさせていただきました。



板垣 茉耶
私は以前から企業が行う社会貢献に関して興味があり、今回のプロジェクトに参加しました。工場見学やインタビューを通じ、仕事に対する愛や環境問題に取り組み熱意をととても感じました。これらの経験から私は、本気で働くことの素晴らしさを実感することができました。



角田 亜衣
今回大谷清運さんのCSRレポート作りに携わり、とても充実感を感じることができました。社会人の世界に一歩足を踏み入れるのは少し不安がありましたが、学生のうちにこのような貴重な体験ができたことを嬉しく思います。

紫藤 まりあ
このプロジェクトに参加し、物事を客観的に見ることと主観的に見ることのできる情報や意識のズレに気づきました。このような形で企業の方と向き合う機会は今までになかったので、とても良い経験になりました。



山崎 彩由奈
今回のプロジェクトを通して、インターンシップでは見ることができない企業の姿を知ることができました。企業を見る上での視野を広げられたと思います。この経験を今後の就職活動に活かしていきたいです。

第三者による評価



「Re」の様々な事業はSDGs達成への確実な進歩である

実践女子大学
生活科学部 現代生活学科
菅野 元行 教授

博士(工学)、エネルギー・環境エキスパート(産業環境管理協会)
専門領域:環境科学、エネルギー科学、環境化学、エネルギー資源化学、有機化学

主要な環境問題の中でも、地球温暖化、エネルギー、廃棄物の問題はお互いに密接な関係がある。LCAの観点から、廃棄物の中でもプラスチックからエネルギーや再生品を得ることで、新たな化石燃料の投入量を低減できるだけでなく、プラスチックのカスケード利用にもつながり、CO2の排出量も抑制できる。

以前はほとんど注目されていなかった海洋プラスチックの問題や、アジア諸国におけるプラスチック廃棄物の輸入規制が近年、急激にクローズアップされた結果、ワンウェイプラスチックの低減は、今やどの業種においても経営体で喫緊に解決すべき問題になっている。

このような現状にも関わらず、大谷清運ではすでに従前の事業で3Rに加えてRe-Born、さらに環境整備や環境教育の事業を通してRe-Slimまで活動の幅を広げており、SDGsの17個の目標の内、8、11、12に加えて4を追加し、さらには7や13にも着手されており、企業としてのSDGsの達成に確実に歩を進めていると言える。「経営層が女性のため、女性の働きやすさも当たり前」という二本社長のお話はもちろんのこと、今後の大谷清運の事業の進展に期待している。

ECO REPORT WAY 21 による評価

ECO REPORT WAY 21とは▶
企業が発行する環境・CSRレポートを学生が独自に作成したリクルート視点の「21の指標」に基づき評価・分析し、企業へ報告・意見交換を行う活動。

評価項目	評価	好意	好意を抱く点	改善	改善を望む点
 人権		好意		改善	
 労働		好意		改善	
 環境		好意		改善	
 腐敗防止		好意		改善	
総合評価		0.00 / 3点満点			